



山田厚
2020年3月2日



山田弘之
2020年3月24日

※本会議で質問中・討論中の私たちです

コロナ災害で不安が強まり、人心が荒れてきました

「三密・自粛」だけでは終息は不可能です

- 感染症対策も主に「三密」「自粛」の「自己責任」ばかりです。マスコミでは感染症の恐ろしさばかり連日報道され、先の見えない不安ばかりです。そして「自分で守ろう・・・」は、「相互監視」となり、東京ナンバーの車にはキズがつけられ、スーパーでは「怒鳴り声」が聞こえ、病院の入り口の消毒薬も盗まれ、デマやいじめも……。苦しく恐ろしい環境に長くおかれ、人の心も荒れてきています。
- 「個人の努力」では限界があります。しっかり、いのちと生活を守り合い、この環境を変え、安心を取り戻しましょう。すでに私たちは、市の対策本部に3回の要望書提出し、早期実施を促しています。



公共施設の入口の消毒薬は、よく持ち帰りされてしまいます。(写真は郵便局の入口)

コロナ災害に抗して、いのちと生活を守るために！

必ず外来から分離・隔離で陽性者は「自宅療養」させない

感染症外来の設置で医療崩壊を止める

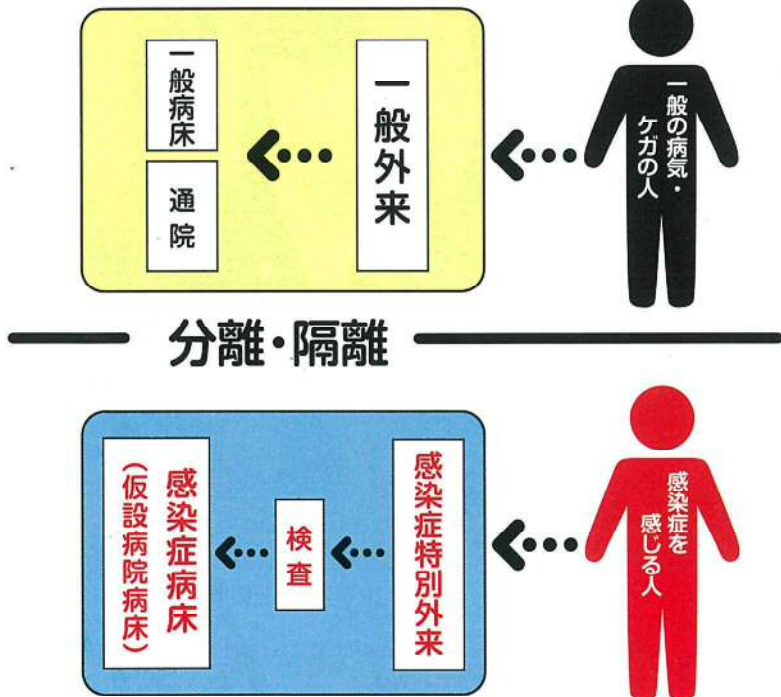
もつと検査を感染症外来を。「自宅療養」は



●医療検査対策が、極めて遅れています。すでに医療・介護施設と家庭内が集団感染の場とされ、「病院にいくな！あぶない！」の状態にもなっています。この状態はすでに医療崩壊です。

●私たちは、図のように、一般外来と分離した感染症特別外来の設置を求めています。発熱の方、呼吸器が不調な方、感染が感じられる方は、施設も別にした特別外来で診察を受け、必要な検査もすべきです。

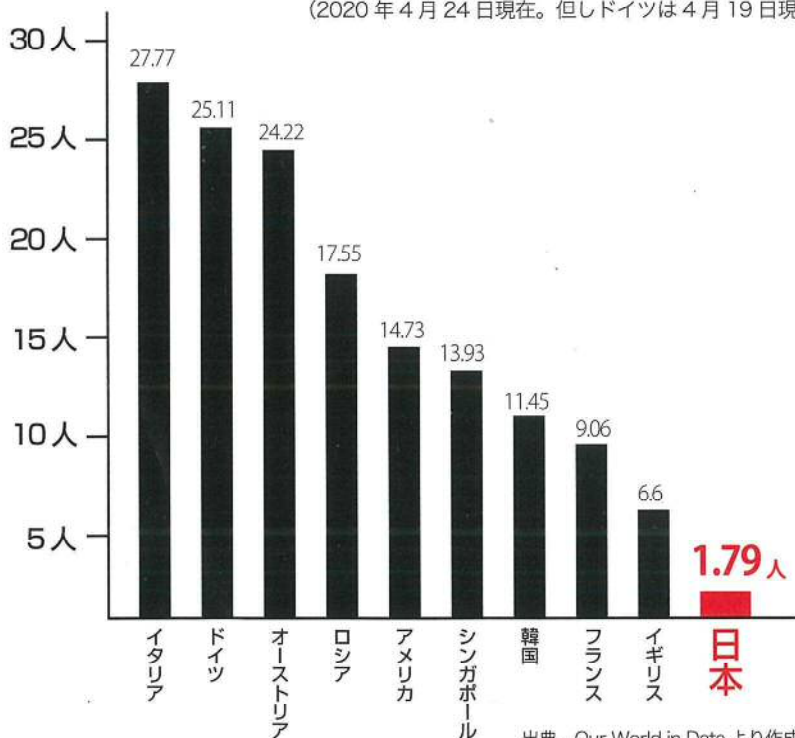
●感染源を野放しにし、その人の命も守れない「自宅療養」は最も危険です。陽性が明らかな患者さんは、感染症病床に、足りなければ「仮設感染症病院」を体育館やホールに設置し入院すべきです。



日本は検査数が足りない

コロナウイルス 1,000 人当たりの検査数

(2020年4月24日現在。但しドイツは4月19日現在)



災害時の要援護者などに安否確認を

●自治体には、どの自治体にも要援護者名簿があります。災害時に自力で避難し身を守ることができない一人暮らし高齢者・障がい者・要介護者の方々を、要援護者として援護することになっています。これらの要援護者は孤立し体調が不調となっても感染の疑いがあっても自分で「自宅療養」の場合が多いと思われる。

●医療扶助を受けている生活保護の方にも同じ対応が必要です。

甲府市からしっかりと やれることを求めましょう!

地域生活を守るには経済支援と消毒の徹底

生活・経済支援を!! 市の減免制度の活用も

● 国も今回、様々な経済的支援のメニューを打ち出しています。しかし、いずれも「自分で申し込まないとダメ」という「申請主義」です。黙って送られてくるのは「マスク2枚」くらいです。

● 例えば、国保・後期高齢医療では、給与所得者が感染症やその疑いのある人が休んだ場合には、申請すると収入の2/3が傷病手当金として1月までさかのぼって支給されます。

● 災害時には自治体独自の税・保険料・使用料負担の減額免除制度があります。私たちはこの制度の積極的実施を甲府市に求めています。まずは電話相談からです

地域の衛生活動・消毒活動を早急に!!

● 地域・公共施設の衛生活動・消毒が極めて不十分です。まず、市役所などの公的施設・駅・医療機関など

の、この事態でも人の出入りが絶えないところや、そのような地域には徹底した噴霧・拭き掃除などの消毒活動が必要です。手すり・ドア・カウンター・エレベーター・タッチパネル・出入り口の床など、臨時の消毒スタッフを雇用して徹底的に行うべきです。

● アルバイト先がなくなつて困っている学生さんなど減収補償のためにも、数多くの方に消毒スタッフになっていただくべきです。

● ゴミの収集作業でも、地域に感染症が広がるだけに、作業員の安全を求めます。一定の防護員と「ゴミ周辺と作業車の消毒」が必要です。

市民が協力している有価物分別作業などでも、手袋・マスク・噴霧消毒薬などを甲府市は配布すべきですし、基本は作業中止です。

甲府市(自治体)には、災害における減免制度が既にあるのです!

- 総合的には「甲府情報案内ダイヤル」
☎ 055-237-5086
詐欺や消費問題では「消費生活センター」
☎ 055-237-5309
- 甲府市各課へ減免制度等の相談
市役所 ☎055-237-1161
→国保・高齢者[医療]・障がい・介護・子ども
生活福祉・税金・労働問題につなぎます

国民健康保険	減免 分割納入、徴収の猶予
国民年金保険	保険料、患者一部負担金免除
市県民税	減免、徴収猶予
軽自動車税	減免
固定資産税	減免
児童保育	保育料減免
生活福祉	生活必需品の給与又は貸与
介護保険	介護保険料の徴収猶予、減免
高齢者福祉	後期高齢者医療保険料の徴収猶予、減免、患者一部負担金免除
義務教育学事	就学費用の一部補助
甲府商業高校	授業料、入学金の減免
市浄化槽	分担金、使用料の減免
上下水道	上下水道料金の減免
一般廃棄物処理	手数料の減免
市営住宅	住宅使用料の減免、猶予

「甲府市の減免等制度一覧」より作成 2019年



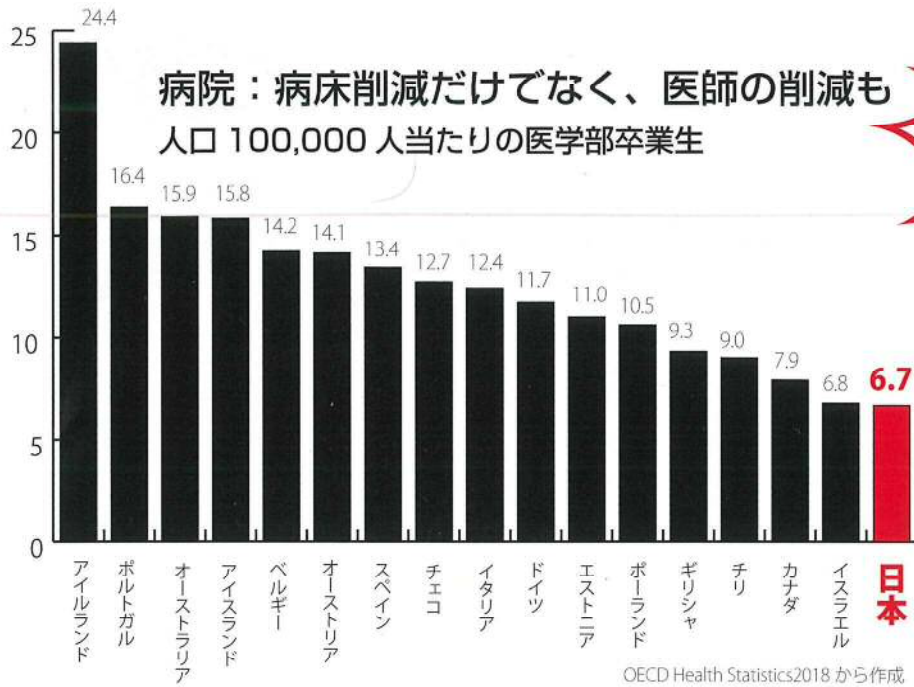
感染症の危険があるゴミの収集
2020.4.28 甲府市

「災害協定」を活かして物資の供給を

● 災害時に「物資が足りない」では困ります。自治体には多くの企業企業グループ団体との「災害時の物資等の協定」があります。今回も協定に基づいて防疫上必要な、防護服それに類するもの・マスク・消毒薬・消毒機材・赤外線体温計・通信機材・材料などの備蓄物資の調査と供出や、活動のための人材協力を求めることができます。まずは、

● また大きな企業には、例え災害協定がなくても協力を求めるべきです。





さあ是正です

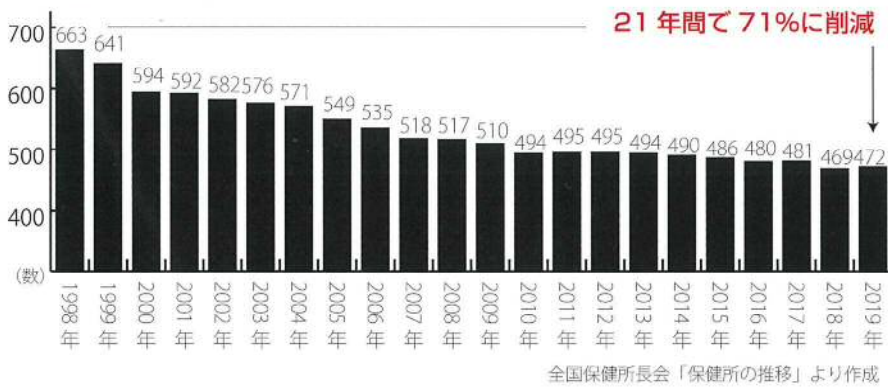
「三密」と「自粛」ばかりに……

それでコロナにも弱くなり

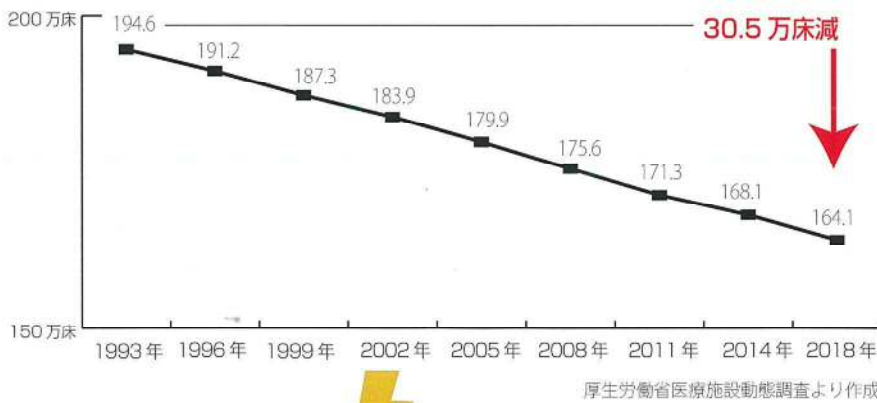
公衆衛生・防疫力が大後退

間違った政策で

激しく削減された保健所 全国保健所総数の推移

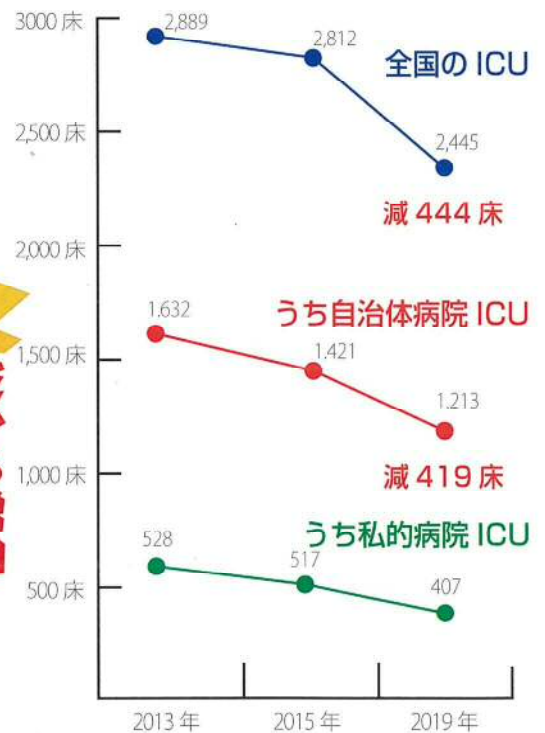


25年間で30万床も削減されている 全国病床数の年次推移



ICUが足りない！なぜ？

安倍政権下で自治体病院から削減されたICU



感染症は減っていない！むしろ増加している

感染症及び寄生虫症による人口10万人に対する死亡者の割合

